

5GとVR/AR/MRがもたらす地方創生を展望

総務省北陸総合通信局（局長 三田 一博）は、令和元年12月16日（月）、金沢市商工会議所において、北陸情報通信協議会（会長 久和進 北陸経済連合会会長）との共催により「5GとVR/AR/MRによる地方創生セミナー」を開催し、ICT関連など多彩な分野の企業・団体から約160名の参加がありました。

まず、「5G（第5世代移動通信システム）の実現に向けた取組について」と題し、総務省の五十嵐新世代移動通信システム推進室長が実証試験の事例紹介及び「ローカル5G」の制度導入スケジュールについて説明し、社会にもたらす変化などについて述べました。



熱心に聴き入る参加者

続いて、VR専門Webサイト「MoguraVR」を運営する(株)Mogura久保田氏からVRとARのビジネスユースの世界の動向について、合同会社DMM.comの河西氏からはVRゲーム開発や地方創生の取組について、全景(株)の荒井氏からは住宅内見VRのAI自動作成及びユーザ視点反映の仕組みについて、それぞれ紹介がありました。

最後に、KDDI(株)の館林氏から5GとVR、ARを生かした多彩な取組について紹介があり、今後の展望として、ネットとリアル融合の進展により社会にパラダイムシフトが起きるとの発言がありました。



また、KDDI(株)からはVR会議システム「NEUTRANS BIZ」のデモも行われ、社内研修で使用したメリットについて紹介があり、来場者の関心を集めていました。

お問い合わせ先
無線通信部電波利用企画課
076-233-4470